アマチュアオーケストラ

新交響楽団第136回演奏会

The New Symphony Orchestra The 136th Concert

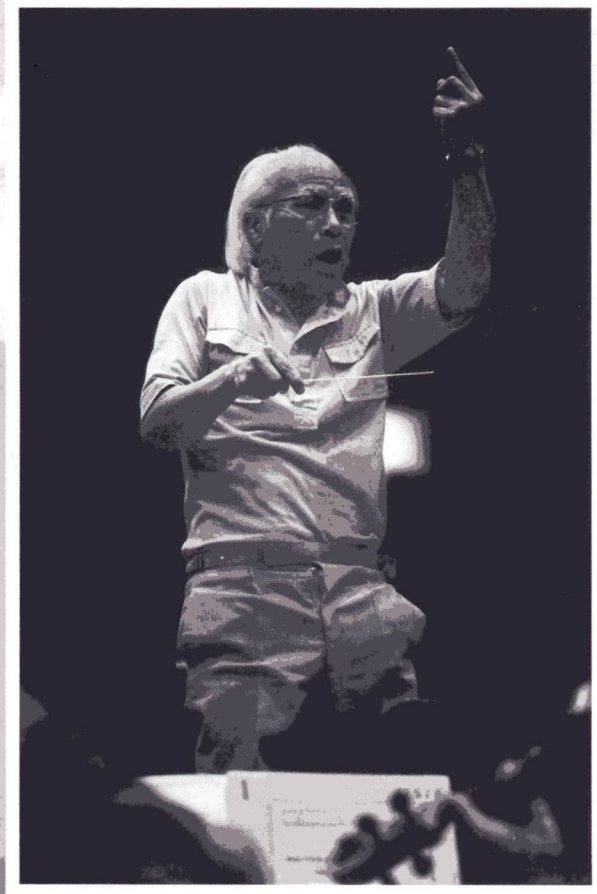
助成：アサヒビール芸術文化財団

新交響楽団名誉指揮者

山田一雄

追悼演奏会

YAMADA Kazuo Memorial Concert



写真提供：管楽器とヒトの雑誌パイパーズ

指揮：小泉 和裕 *KOIZUMI Kazuhiro, conductor*

【曲目】

山田 和男 交響的「木曾」

YAMADA Kazuo : Symphonic KISO, 1939

マーラー 交響曲第5番 嬰ハ短調

Gustav MAHLER : Symphony No.5 c♯-minor, 1902

1992年7月19日(日)サントリーホール2時

Sunday, July 19, 1992 Suntory Hall 14:00

S席：¥3000 A席：¥2000 B席：¥1500(全席指定)

チケットのお申し込み・お問い合わせ：コンサートサービス03(3263)3858

チケットのお申し込み：チケットぴあ03(5237)9990／チケットセゾン03(5990)9990

＊おそれいりますが未就学児の入場はお断りさせていただきます。

名誉指揮者・ヤマカズさんを偲んで

昨年の８月13日朝、急な訃報を聞いてから早くも次の夏が近づいています。新交響楽団の名誉指揮者としてマーラーシリーズをはじめ、数多くの演奏会を通じてわれわれ団員に、いやそれよりも多くの聴衆に、ほんとうに生きている、呼吸を欠かさない、とても真摯な音楽を贈り続けた大きな存在でした。

山田一雄先生に新響が初めて出会ったのは1979年秋、マーラーの交響曲第５番の練習です。そのシーズンの大きな収穫はそれまで私たちの体験したことのない種類のもので、この衝撃がマーラーの全曲シリーズを企画・実行させる力になりました。そのような経緯があって、５番には私たちにとって特別な思いがあります。ですから今回も迷わず「５番」を演奏することになりました。

今この曲をふたたび練習していても、全霊で音楽に対座する、エラ呼吸のような、音楽がアナログで伝わってくる、何と形容していいのか、先生のあの独特な指揮姿が思い出されます…。

指揮は先生の一番弟子である小泉和裕氏にお願いしました。また「交響的木曾」は作曲家としてのヤマカズ先生の、半世紀以上前の作品です。日本の民謡・旋法を西洋アンサンブルの中でさまざまに料理する、実験の時代でした。そんな中で若いヤマカズさんのみずみずしい感性が「木曾節」の中で跳びはねています。

（一団員 K.I.）

新響は団員を募集しています。

新交響楽団は会社員、教員、学生、主婦などなど、さまざまな職業・年齢にわたる団員で自主運営されているアマチュアオーケストラです。音楽監督の故・芥川也寸志氏が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、あなたの力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧になって下さい。いつでも歓迎です。連絡先：市川☎0425(62)4595　団費：入団費3,000円、団費月額4,000円。練習は毎週土曜午後６～９時、東京文化会館他にて。



STEINWAY & SONS®

伝統と手作りが生んだ
世界の逸品
スタインウェイ

日本総代理店 株式会社 松尾楽器商会

本　　社　東京都港区芝大門1丁目9番1号
〒105 ☎3436-4331（代）

関西営業所　神戸市中央区磯辺通2丁目2-10
〒651 ☎078－221－4071（代）

■美しいカタログを用意しております。機種名をご記入の上、お申し込みください。■お求めやすい長期ローンのお取り扱いをしております。ご利用ください。